

平成17年度四万十市予算 総額379億円

新市「四万十市」の本予算がスタートしました。国と地方を通じた厳しい財政環境の中、人件費削減などの財政健全化を進めた緊縮型予算となりましたが、一方では、合併事業の推進、地域経済の活性化に重点的に取り組むため、可能な限りの予算配分を行いました。

予算額は、一般会計で202億3500万円、特別会計(14会計)で158億1352万円、企業会計(2会計)で38億5603万円、各会計間の重複を控除した総額で379億629万円です。ただし、合併準備経費や旧市村の平成16年度の未収・未払い分、繰越事業分を含んでいますので、これらを除いた通常の予算額は、337億7654万円になります。主な事業と予算額は次のとおりです。

●地域の特性を活かした循環型産業のまち●●●

- ・中山間地域等直接支払交付金 ————— 7,837万円
- ・森林整備地域活動支援交付金 ————— 7,591万円
- ・農道滝ノ下線整備促進事業 ————— 6,270万円
- ・緊急間伐総合支援整備事業 ————— 3,395万円
- ・大用地区ため池等整備事業 ————— 3,030万円
- ・レンタルハウス整備事業 ————— 2,835万円
- ・有機物供給施設運営事業 ————— 2,104万円
- ・トンボ自然公園整備事業(用地取得) ——— 1,838万円
- ・有害鳥獣被害防止対策事業 ————— 1,104万円
〔防護設備設置補助・捕獲報奨金・組織育成等〕
- ・養液栽培施設整備事業 ————— 900万円
- ・中村市漁協給油施設整備事業 ————— 882万円
- ・中心市街地活性化推進事業(TMO補助金) ——— 830万円
- ・中山間農業活性化支援事業 ————— 819万円
- ・特定農山村総合支援事業 ————— 240万円
〔有機農業・グリーンツリズム推進〕
- ・こうち農業確立総合支援事業 ————— 230万円
〔近代化設備整備、押谷口地区換地〕
- ・農業後継者育成事業 ————— 221万円
〔農業研修・教育資金支援・国内外研修〕

●健康で活気とやさしさのあふれるまち●●●

- ・児童手当 ————— 1億5,935万円
- ・児童扶養手当 ————— 1億679万円
- ・保健事業〔健康診査、健康教育〕 ————— 5,416万円
- ・乳幼児医療費助成事業 ————— 4,396万円
- ・高齢者生きがい対策事業 ————— 3,746万円
〔はつらつサービス、地域ふれあい談話室ほか〕
- ・放課後児童健全育成事業〔学童保育〕 ——— 1,133万円
- ・心身障害者小規模作業所運営事業補助金 ——— 1,086万円
- ・精神障害者社会復帰助成事業補助金 ————— 918万円
- ・障害者福祉計画推進事業 ————— 887万円
〔障害者支援センター運営ほか〕
- ・へき地診療所医療機器整備 ————— 397万円
- ・育児支援家庭訪問事業 ————— 240万円

●人と文化がいきいきとかがやくまち●●●

- ・中村中学校改築事業 ————— 6億3,192万円
〔監理委託、旧校舎撤去、仮設校舎、新校舎建設〕
- ・第11回四万十川ウルトラマラソン補助金 ——— 1,578万円
- ・奨学資金貸付事業 ————— 872万円
- ・第1回しまんと市民祭記念事業補助金 ——— 280万円

●人と自然が共生する安心・安全のまち●●●

- ・市道整備事業 ————— 8億940万円
- ・公共下水道整備事業(百笑ポンプ場建設ほか) — 7億5,913万円
- ・簡易水道施設整備事業 ————— 6億8,353万円
〔西部統合、橋・津野川ほか〕
- ・幡多クリーンセンター運営事業 ————— 5億7,666万円
(高知西部環境施設組合負担金)
- ・新しいまちづくり基金積立金 ————— 1億7,336万円
- ・鉄道経営助成事業(土佐くろしお鉄道) ——— 1億6,202万円
- ・上水道施設整備事業 ————— 1億5,368万円
- ・都市計画道路・堤防廻線整備事業 ————— 1億1,000万円
- ・古津賀地区都市公園整備事業 ————— 9,000万円
- ・下田港湾改修事業(県営事業負担金) ————— 8,125万円
- ・路線運行バス運営費補助金等 ————— 7,841万円
〔中村まちバス、市営バス運行含む〕
- ・浄化槽設置整備事業補助金 ————— 4,775万円
- ・公営住宅整備事業〔江川団地〕 ————— 3,585万円
- ・快適環境整備事業補助金 ————— 2,500万円
〔農林道、作業道整備を除く〕
- ・移動通信用鉄塔整備事業(携帯通話エリア拡大) — 2,500万円
- ・鉄道経営助成基金再造成積立金 ————— 2,096万円
- ・校舎・体育館耐震診断事業(体育館5施設等) ——— 2,009万円
- ・消防ポンプ自動車購入事業(西土佐第3分団) ——— 1,800万円
- ・防火水槽設置事業 ————— 1,500万円
- ・四万十川清流保全対策事業 ————— 1,443万円
〔水辺の楽校、環境学習、保全機構負担金、水質測定、四万十川方式浄化施設管理ほか〕
- ・地域防災体制整備事業(南海地震対策) ————— 1,350万円
- ・宿毛佐伯航路支援事業負担金 ————— 236万円
- ・木造住宅耐震診断事業 ————— 165万円
- ・浄化槽整備推進事業〔整備計画策定〕 ——— 99万円

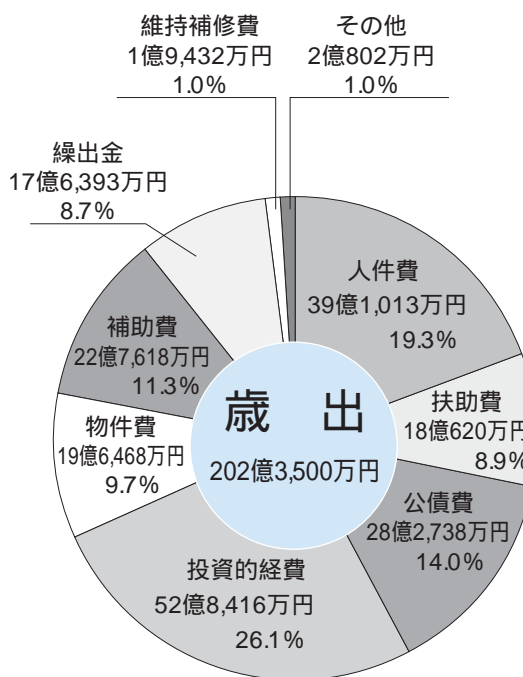
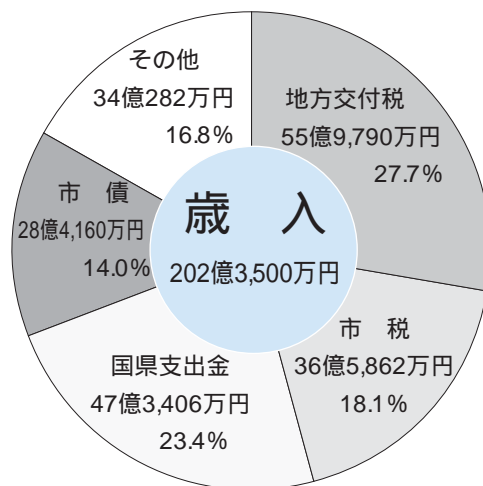
● 市民と行政が協働するまち ●●●

- ・ コミュニティ助成事業 ————— 560万円
〔憩いの家整備ほか(津野川、下家地、口屋内)〕
- ・ 国際交流員招致 ————— 517万円
- ・ 川登生活改善センター整備事業 ————— 308万円
- ・ 中国・亳州市友好交流事業〔市訪問団派遣〕— 218万円
- ・ 男女共同参画プラン推進費 ————— 113万円
〔男女共同参画プラン推進委員会、講演会等〕
- ・ 地域審議会設置 ————— 27万円

● そ の 他 ●●●

- ・ 新庁舎建設事業 ————— 5,507万円
〔基本計画、用地測量、補償調査等〕
- ・ 地籍調査事業 ————— 1,558万円
〔横瀬地区、下田地区、江川地区〕
- ・ 国保税収納率向上特別対策事業 ————— 370万円

区 分	予 算 額
一 般 会 計	202億3,500万円
特 別 会 計	158億1,352万円
国民健康保険会計事業勘定	39億9,430万円
国民健康保険会計診療施設勘定	6億4,010万円
奥屋内へき地出張診療所会計	2,171万円
老 人 保 健 会 計	48億5,627万円
下 水 道 事 業 会 計	15億2,592万円
と 畜 場 会 計	3億3,539万円
幡多公設地方卸売市場事業会計	4,532万円
住宅新築資金等貸付事業会計	533万円
鉄道経営助成基金会計	4億8,161万円
農業集落排水事業会計	4,621万円
幡多中央介護認定審査会会計	751万円
介護保険会計保険事業勘定	27億4,805万円
園芸作物価格安定事業会計	1,976万円
簡易水道事業会計	10億8,604万円
企 業 会 計	38億5,603万円
水 道 事 業 会 計	7億4,438万円
病 院 事 業 会 計	31億1,165万円
合 計(各会計間の重複額除く)	379億 629万円



金額が大きすぎて、ピンとこない……。用語がわかりにくい……。市民の皆さんに、四万十市の財政を少しでも身近に感じていただくため、「市民1人あたりの家計」に例えてみましたので、次のページをご覧ください。



四万十家の家計簿

～ 四万十市の財政を家計に例えると～

市の財政について、皆さんに身近な形でお知らせするため、市の予算を家計簿に例えてみました。四万十家の収入・支出は、市の平成17年度一般会計予算額202億3500万円を人口3万8784人（国勢調査人口）で割った市民1人あたりの金額です。

四万十家	一郎さんの子ども	一郎さんの両親
本人 四万十一郎(一般会計) 妻 四万十花子(")	長女 四万十特子(特別会計) 次女 四万十企代(企業会計)	父 四万十国男(国) 母 四万十県子(高知県)

四万十家の収入

収入の種類	収入額	構成割合	構成割合		予算額
一郎さんの給料	9万4333円	18.1%	自主財源	市税	36億5862万円
花子さんのパート収入	5万6698円	10.9%		負担金(保育料など)、使用料・手数料など	21億9899万円
貯金の取崩し	6138円	1.2%		基金からの繰入金	2億3805万円
父からの援助	22万8353円	43.8%	依存財源	地方交付税、国庫支出金など	88億5642万円
母からの援助	6万2947円	12.0%		地方消費税交付金、県支出金など	24億4132万円
借入金(ローン)	7万3267円	14.0%		市債	28億4160万円
合計	52万1736円	100%	合計		202億3500万円

四万十家の年収は、52万1736円です。収入のうち、自分たちの力で得た収入(自主財源)は、給料、パート収入、貯金の取崩しで全体の3分の1程度しかありません。残りの3分の2は、親からの援助と借入金(ローン)です。最近、不景気などにより一郎さんの給料は増えず、また、親の家計も苦しく年々援助額が減っています。

四万十家の支出

支出の種類	支出額	構成割合	歳出科目		予算額
食費	10万818円	19.3%	義務的経費	人件費	39億1013万円
教育費、医療費など	4万6571円	8.9%		扶助費	18億620万円
借入金(ローン)返済	7万2901円	14.0%		公債費	28億2738万円
家の増築、車の購入など	8万8145円	16.9%	投資的経費	普通建設事業	34億1864万円
災害による家屋の補修費	4万8100円	9.2%		災害復旧事業費	18億6552万円
光熱水費、衣料費など	5万657円	9.7%	その他経費	物件費	19億6468万円
地区会費、火災保険料など	5万3275円	10.2%		補助費(病院・上水道会計負担金除く)	20億6621万円
子供への仕送り	5万895円	9.8%		繰出金、病院・上水道会計負担金	19億7390万円
家の修繕費	5010円	1.0%		維持補修費	1億9432万円
友人へ貸したお金	599円	0.1%		貸付金	2323万円
貯金、証券投資など	4765円	0.9%		積立金、出資金、予備費	1億8479万円
合計	52万1736円	100%	合計		202億3500万円

収入の増加は期待できませんので、食費(人件費)の削減など、支出を抑えていかなければなりません。

【四万十家の借金総額】

64万670円

平成16年度末の市債現在高
248億4774万円
を市民1人あたりにした金額です。

【四万十家の貯金総額】

7万4006円

平成16年度末の基金現在高
28億7024万円(特別会計に属する基金を除く)
を市民1人あたりにした金額です。

四万十家の借金総額は、年収の1.2倍程度になります。また、貯金総額には、決まった目的のために使う貯金(庁舎建設基金など)も含まれ、それを除いて自由に使える貯金は、無くなりつつあります。